

会 長 西 田 尚 道

(豊中千里RC)

- テーマ:「老後に安心なくらしを」~ロータリーとしてどのように関わっていくか~
- 日 時:2008年4月5日(土) 13:30~16:50
- 場 所:千里阪急ホテル(仙寿の間)
- ホスト:豊中千里ロータリークラブ(会長 西村尚道)
- 参加クラブ:池田RC、豊中RC、箕面RC、豊中南RC、豊中-大阪国際空港RC、箕面中央RC、池田くれはRC、豊中千里RC(以上8クラブ)
- 登録者数:299名
- 参加者数:154名

RI2660地区G新谷秀一様、第1組GA上野弘之様ならびに地区役員の皆様方のご臨席と、8RCの多数のロータリアンのご出席を頂き、無事IMを開催することができました。

平成18年の「高齢化率」は20.8%であり、今後さらに日本は世界に類をみない速さで高齢化が進もうとしています。それに対し社会の反応は遅れがちです。そのような現状の中で、今回のIMのテーマであります「老後に安心なくらしを」とは誰もが願うことであります。少しでもその願いに近づくために、我々ロータリアンはどう関わっていけばいいのか検討することにしました。基調講演は高齢化社会問題については第一人者であられます樋口恵子先生にご講演いただきました。人をひきつけ、とてもユーモア溢れるご講話で、「人生最後に『長生きしてよかった』と思われる社会を作るのが我々の責務である。」と締めくくられました。まさに、このひと言に尽きるのではないかと思います。

第2部は下記の構成によるパネルディスカッションが行われました。

コーディネーター

豊中千里ロータリークラブ 樹下 行三

パネリスト

NPO法人 高齢社会をよくする女性の会代表
樋口 恵子

パネリスト

大阪府健康福祉部 高齢者介護室介護支援課長
平岩 勝

パネリスト

社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
副主幹兼地域福祉係長 勝部 麗子

パネリスト

豊中千里ロータリークラブ 川崎 守男

現場の色々な立場から、実践的で貴重な意見を拝聴し感銘を受けました。その後、多数の会員から質問が出され活発な討論となり、時間が超過するほどでした。

3時間半にも及んだIMもあっという間に終わり、後ほど会員の皆様方から「意義ある会であった。」との称賛を頂きましたことは、ホストクラブといたしまして誠に喜びにたえません。盛り上げて下さいましたご来賓の方々をはじめ、会員の皆様方のご協力に感謝し、改めてお礼を申し上げる次第です。